

「最悪の事態を想定した避難計画を」など意見相次ぐ



上越市が策定した「原子力災害に備えた屋内退避・避難計画（初版）」について、市民説明会が19日の夜、吉川コミュニティプラザで開かれました。市民説明会は吉

川会場が第1回目です。柏崎刈羽原発まで30キロ圏内の地域とあって、多数の市民が参加し、要望や意見を出していましたね。マスコミもテレビや新聞社などたくさん入っていました。

「案」についての市民説明会が19日の夜、吉川コミュニティプラザで開かれました。市民説明会は吉

かに正確な情報を伝えてほしい」「事故が発生しても発電所が速やかに情報を出してくれるか不安だ」「原子力災害用のサイレン、検討できないか」「複合災害の可能性もある。発生する時間帯もいつになるかわからない。最悪の事態を想定した対策を」「PAZ、UPZ、スクリーニングなどは丁寧な注釈がないとわからない」などの声が相次ぎました。

答弁の中で市は、「上越市内におけるモニタリング（ポスト）増設を急ぐよう働きかける」「情報は正確なものをできるだけ早く出していきたい」「サイレンは、この音だったら原発事故だとわかるようにしたい」とのべました。また、10月に原子力災害を想定した総合防災訓練を計画していることを明らかにしました。

上越市の計画案は県内の原発周辺自治体としては初めてのものです。市民の声を反映させ、しっかりした計画に仕上げたいってほしいものです。

市民説明会は柿崎コミプラ（20日午後6時半から）、大潟コミプラ（24日、同）、文化会館（25日、同）、浦川原コミプラ（27日、同）、大島就業改善センター（28日、同）、くびき希望館（30日、午前10時から）でも実施されます。

モニタリングやサイレンで約束

説明にあたった市の幹部は、「今回お示したものは不完全なもの。ぜひみなさんのご意見を聴かせてほしい」と繰り返し述べていました。福島の事故を見聞きしてきた市民は大きな不安を持ち、心配をよそに参加です。

参加者からは、「福島の事故時の避難実態、検証を踏まえたものにすべき。そのためにも教訓を整理し、計画に盛り込むべきだ」「モニタリング（ポスト）増設の声が出ているにもかかわらず検討のスピードが遅い」「速や



【水草】今回は名前がよく分からない花のご紹介です。田んぼでクワイとともに咲いていた白い、小さな花です。たぶん、ドリマリアコルダータかと思うのですが、自信がありません。わかった方はぜひご一報を。写真は吉川区小苗代にて撮影しました。



相や中谷元・防衛相の責任とともに、国会を無視した「軍部の独走」に等しい振る舞いが大問題となつています。運動と国民世論の力で戦争法案を廃案に追い込もうと、「総がかり行動実行委員会」は「戦争法案廃案！安倍政権退陣！国会10万人・全国100万人大行動」を提起し、準備は着々と進んでいます。

上越市では30日、午後3時から「かに池公園」で1000人集会・パレードが行われます。すでに呼びかけ人は弁護士、宗教学者、文化人など150人を超えました。必ず成功させましょう。写真は浦川原物産館前での辻立ち宣伝行動です。15日撮影。

憲法を壊すな! NO! Abe!

戦争法案 NO!

全国100万人大行動上越大集会

●開会15:00~17:00終了予定(雨天決行※雨具を忘れずに)

8/30(日)15:00~

上越市かに池公園

主催「戦争法案NO!上越実行委員会」

連絡先 馬場秀幸法律事務所 TEL.025-520-7317

はしづめ法一の活動レポート

No.1720 2015.8.23

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら

橋爪法一 検索

先日の夕方、妻とともに柏崎市にある妻の実家を訪ねたときのことで。デイサービスから戻ってきた義母は玄関先で送りの車に手を振っていました。家の中からこの様子を見ていた私は、なかなかハイカラな格好をしているなと思いました。

腰には赤茶色のベルト、頭には薄茶色の帽子、身につけているものがとても似合っていましたし、若々しく見えたのです。それに普段歩く時は家の中でも外でも少し腰を曲げているのですが、このときは背を伸ばしているじゃありませんか。

この見送りの様子をお茶を飲んでいるときに義姉や義兄などに話したところ、デイサービスへ行く日の義母のスタイルのことで、ひととき賑やかにになりました。どうやら、義母は施設では「おしゅれなおばあちゃん」として評価されているらしく、そこで働く人たちも、義母がどんな格好をしてデイサービスにやってくるのか楽しみにしているというのです。

どんな言葉でほめられていたのかはわかりませんが、施設で「かつこいいね」とか「素敵な服だね」などとほめられ、いやだと思ふ人はまずいないでしょう。義母だってそうです。義母のおしゅれが施設で評判を呼んでいると義姉がのべたとき、義母の頬はゆるみました。

じつは、義母はデイサービスに出かけることに最初、消極的でした。話し相手になる人がほとんどいないなどと言って、不満そうなることを私に漏らしたこともあったのです。それがこのような変わりようです。どんなことがきっかけでもいい。義母にとって、デイサービスでの一日が楽しみとなってくればうれいしですね。

年齢がいくつであろうが、おしゅれを意識する、少なくとも身につけるものに気を配るといことは大事なことです。私はこういったことには無頓着で、背中からワイシャツが出ていることはしょっちゅうです。先日も妻に、「はい、おとうさん、靴下の中にズボンが入っています」などと言われる始末です。

先般、インターネットで九八歳になる板山の伯母の左手の爪に描かれた絵を紹介し、「ピンクの爪に白い花が咲いています」と書いたところ、何人も女性の爪の方から感想を寄せていただきました。「一度、私もしてみたい」「女性って爪にネイルするだけでもテンション上がりです。指だけなんとなん『女性』になったような気がして……」「手が美しいですね。長年使い込んだ味わい深い手に、ピンクがさらに色を添えています」などの感想を読ませてもらい思ったのですが、女性のおしゅれへの関心度は高いですね。

現在、週に一度の割合でデイサービスに通っている柏崎の義母、おかげ様でまだ要介護度が低く、自力でやれることがほとんどです。先日も、「足の爪も、手の爪も自分で切っているよ」と言っていました。自分の着るものについてもおしゅれ感覚を働かせながら自分で選んでいます。自分でやれることは大いに自分でやってほしいですね。

柏崎の義母は七月、九一歳になりました。先日、妻が柏崎の安田にある義姉の 아파트へちよつとだけ寄るとい情報義母にも伝わりました。義姉によると、「留守の間に来て会えないなら、デイサービスを休みたい」と言ったというのです。本当のことをいいいますと、夕方ではなく、もっと早い時間に柏崎に着いたのですが、この話を聞いたら、すぐには家に帰れなくなりました。

ひよつとすると、この日の義母のおしゅれはデイサービスに行くためだけではなく、末娘である私の妻との久しぶりの再会を意識してのものだったのかも知れません。

10日現在、談合業者の補助参加なし

新潟地裁において上越市ガス水道局所管工事における談合事件（正式には上越市ガス水道工事談合損害賠償請求履行請求事件）の第2回口頭弁論が10日、行われました。

法廷の傍聴席は上越市からの参加者、マスコミ関係者など多くの傍聴者でいっぱいになりました。

この日の裁判においては、裁判長から原告側に、いくつかの証拠資料について詳しい説明をしてほしい、損害請求額の算定の仕方などについてもつっこんだ説明をしてほしいと要請がありました。これらについては次回までに原告側の弁護団が整理してよりわかりやすい形で提出されるものと思います。

今回の事件に関して被告側は、答弁書を提出するとともに、7月16日付けで談合に加



わった業者に訴訟告知をし、裁判に参加（補助参加）するよう促していますが、10日現在、参加の動きは確認できていません。

次の口頭弁論は10月22日午後1時半からです。写真は新潟地裁の建物です。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月5日(水)	8月19日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.050	0.040
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.057	0.053



空はもう秋……

お盆が過ぎ、いつの間にか田んぼの稲も黄色くなってきました。大好きなイネの香りもじきに漂ってくることでしょう。

空を見上げていると、ひつじ雲の出てくるが多くなってきました。空も秋の気配がしてきました。季節の変わり目です。体に気をつけて頑張りましょう。